

幼児教育の充実のために

幼児期における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、幼児期の特性を踏まえた充実した教育が行われることが求められます。

福岡県と福岡県教育委員会では、幼稚園・保育所・認定こども園における幼児教育の更なる質の向上を図ることを目的に、平成28年度から3年間、「福岡県幼児教育の推進体制構築事業」を実施しています。

事業内容

● 幼児教育アドバイザー巡回訪問

幼稚園・保育所・認定こども園からの要請に応じて幼児教育アドバイザーが訪問し、それぞれの課題や相談したい内容に対してアドバイスをを行っています。

● 幼児教育アドバイザー育成講座

講義・演習を通して「幼児教育アドバイザー」としての実践的指導力を身に付けることを目的として年5回の講座を実施しています。



幼児教育アドバイザー巡回訪問

■幼児教育アドバイザー巡回訪問って何？

教育課程・保育課程の編成や学級経営に関すること、園内研修の在り方等、それぞれの園（所）の相談内容に応じてアドバイザーが訪問し、先生方をサポートします。

「なかなか園外研修に出られない。でも、保育実践力を身に付けたい。」
「自分の保育が今のままでよいのか不安。」
「小学校への接続とは、何をどのようにつなぐとよいのかよく分からない。」

そんな時はぜひ、アドバイザーに御相談ください！

■アドバイザーにどんな相談ができるの？

次の①～③の内容で御相談いただけます。

① 保育参観及び協議

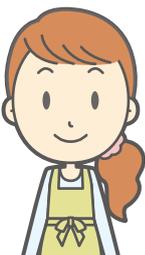


幼児の自発的な遊びを促すためには、どんな環境づくりをすればいいのかな。

幼児の活動の流れに即して、幼児の遊びのイメージや意図が実現できるよう、どのような環境を構成していくのか等、保育活動を実地に参観し、具体的なアドバイスを行います。



相談内容例 ▶ 保幼小の連携・接続を図る教育の推進について



小学校5年生と年長児が交流している様子を参観していただき、保幼小の連携や小学校との接続のために大切にしていかなければならないことなどをアドバイスしていただきたいです。

巡回訪問後の感想

訪問園の先生から

保育参観をしていただき、小学校の授業や幼稚園の保育の進め方や言葉かけなど、具体的に教えていただき、学ばせていただきました。また、保幼小連携・接続の推進のための要点を詳しく教えていただきました。今後の保幼小連携の中に取り入れて進めていきたいと思っております。

アドバイザーの先生から

年長児と小学5年生の交流では、幼児・児童のペア活動を工夫し、生き生きと活動できていました。また、教師間の事前打合せも行い、小学校と良い関係で実践に取り組んでいるので、2回目の交流への幼児・児童の意欲も高まっていました。

園の保幼小間の連携への構えや意欲も大変よいので、今後は、運営体制の見直しや教育課程への接続を意識した計画の検討が求められます。

② 課題相談



小学校の先生との合同研修会をもう少し充実させるために、何かよい方法はないかな。

それぞれの園の課題に応じて園内研修の体制整備や進め方、アプローチカリキュラムの検討等、課題解決を図るためのアドバイスを行います。



相談内容例 職員の休憩時間の取り方や園内研修の体制等について



- ①休憩について職員への周知は徹底していますが、休憩時間をスムーズに取る上でのさらなる工夫について検討し、よりよい職場環境を目指したいと思っています。
- ②今後は人材育成に力を入れていきたいと考えています。園内研修の体制や進め方についてアドバイスをいただきたいです。

巡回訪問後の感想

訪問園の先生から

他園の先生と情報交換ができて良かったです。普段であれば相談しにくい内容も、この場を借りて話すことができ、これからの改善点を考える貴重な機会となりました。また、園舎内を見ていただいたり、当園職員とも話していただいたりして、職員にとっても励みになったと思います。アドバイザーの先生とこのようなご縁をいただけたことに感謝します。

アドバイザーの先生から

初めてお会いする園長先生方と率直に情報を交換し、課題や悩みを共有することができたという意味で、大変有意義な機会と感じました。園舎を見学させていただきながら保育への取組をお聞きしました。その中でも、食育への思いが強く、子どもたちへ本物の食事を提供したいという姿勢が印象的でした。豊かな自然環境を利用して、稲作への取組や田んぼを使った活動等、特徴的な保育も見られました。県内でも貴重な保育所から移行した幼保連携型認定こども園ということで、その運営についても将来を見据えたビジョンをお持ちであり、今後の職員の育成や保育・教育の充実へ向けての情熱を感じることができました。

③ その他



A先生は最近、ちょっと悩んでいるようだ。A先生が自信を取り戻して保育活動に取り組めるような方法はないかな。

個別相談に応じたり、園内研修での講話等を通して、広く保育の理解啓発を支援します。



幼児教育アドバイザー巡回訪問のお申込みについては、下記をご覧ください！



募集対象

3歳以上の幼児が在籍する下記の幼児教育施設を対象としています。

- 県内の国立幼稚園
- 県内の公立幼稚園（政令市を除く）
- 県内の私立幼稚園
- 県内の保育所及び認定こども園（政令市を除く）

申込み方法

別紙様式1「幼児教育アドバイザー巡回訪問申請書」に希望内容等を記入し、下記まで提出してください。

- 国立幼稚園：福岡県教育庁教育振興部義務教育課
- 公立幼稚園：所管教育事務所
- 私立幼稚園：福岡県人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局私学振興課
- 保育所及び認定こども園：福岡県福祉労働部子育て支援課

※平成29年度のアドバイザーが決定次第、アドバイザーリストを送付します。

アドバイザーの希望があれば、リストの中から選んで希望することができますが、御希望に沿えない場合もありますので御了承ください。

訪問時間

月曜日～金曜日の9時～17時の間で、1回あたり1.5～3時間を原則としています。
御希望の時間を御相談ください。

経費

幼児教育アドバイザー巡回訪問に係る訪問園の費用負担はありません。

問い合わせ先

- 国立及び公立幼稚園：福岡県教育庁教育振興部義務教育課（TEL 092-643-3910）
- 私立幼稚園：福岡県人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局私学振興課
（TEL 092-643-3130）
- 保育所及び認定こども園：福岡県福祉労働部子育て支援課（TEL 092-643-3258）



幼児教育アドバイザー育成講座

福岡県では幼稚園、保育所及び認定こども園に対してアドバイスを行う「幼児教育アドバイザー」を育成しています。

■幼児教育アドバイザーはどんなことをするの？

訪問要請のあった幼稚園、保育所及び認定こども園へ訪問し、それぞれの園（所）の相談内容に応じたアドバイスや指導助言、個別相談、講話等を行います。

また、幼児教育の内容及び方法の実践的な研究や研修に取り組んでいる幼稚園、保育所及び認定こども園に対し、指導的役割を担います。

■アドバイザー育成講座ではどんなことが学べるの？

幼児教育アドバイザーとしての実践的指導力を身に付けるため、次のような内容を講義又は演習形式で行います。講座は年5回実施します。

- 幼児教育アドバイザーの役割
- 幼児教育に必要な専門性

（ ・学びをつなぐ保幼小接続
・幼児教育の充実に資する研修の在り方
・幼児教育アドバイザーと共に巡回訪問する実地研修 など ）

■どんな人が受講できるの？

次のア～エに該当し、幼児教育の推進に熱意を有する方を対象としています。

- ア 幼児教育施設の園長、施設長、教頭、主任等
- イ 幼児教育施設において指導的立場にある教諭、保育士、保育教諭等
- ウ 指導主事その他地方公共団体の職員で幼児教育に関する専門的事項の指導に関する事務に従事している方
- エ アからウまでに掲げる職にあった方

■この講座を受講した後はどうなるの？

5回の講座を履修された方には、修了証書を交付し、「幼児教育アドバイザー」として登録します。受講終了後は、「幼児教育アドバイザー巡回訪問事業」をはじめ、幼児教育の内容及び方法の実践的な研究や研修の推進等に御協力いただきます。

平成29年度の育成講座の受講申し込みについては、下記をご覧ください！

平成29年度の講座予定

第1回：平成29年7月11日（火）

第2回：平成29年8月18日（金）

第3回：平成29年10月3日（火）

第4回・第5回については巡回訪問実施日を調整した後、お知らせします。

※現時点での予定ですので、変更する可能性があることを御了承ください。

問い合わせ先

- 国立及び公立幼稚園：福岡県教育庁教育振興部義務教育課（TEL 092-643-3910）
- 私立幼稚園：福岡県人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局私学振興課（TEL 092-643-3130）
- 保育所及び認定こども園：福岡県福祉労働部子育て支援課（TEL 092-643-3258）

■平成28年度幼児教育アドバイザー育成講座の様子

第1回 (7月25日)

- 幼児教育推進の課題と幼児教育に必要な専門性 (講義)
- 幼児教育アドバイザーの役割について (講義・演習)

北九州市幼児教育推進員の3名の先生方から、実際にアドバイザーとしてどのように巡回訪問をしているのかについてお話を伺いました。演習では、「子どもたちが笑顔になるとき」や「先生方が笑顔になるとき」を考えながら、アドバイザーの役割について学びました。



子どもたちが笑顔になるとき (演習)

第2回 (8月24日に実施された「平成28年度福岡県幼稚園教育課程研究協議会」に参加)

- 幼児教育に係る教職員の資質向上に向けて～保幼小連携の取組を踏まえて～ (講演)

文部科学省初等中等教育局幼児教育課 河合優子調査官から幼児教育に係る教職員の専門性や幼児期の教育と小学校教育の接続についてお話していただくとともに、次期幼稚園教育要領の動向についても御示唆いただきました。

- 幼稚園、保育所、認定こども園との連携や小学校との接続について (実践発表・研究協議・講話)

第3回 (10月17日)

- キャリアステージに応じた研修の在り方について (講義)
- アドバイザーに必要なコーチングスキルについて (講義・演習)

大木町立木佐木小学校 池田隆校長先生から「コーチング」についてのお話を伺いました。コーチングは、答えを教えることではなく、「相手の中にある答えを引き出すこと」ということを、コーチングの3つの基本スキル (聴く・承認する・質問する) の演習を通して学びました。



聴く環境づくり (演習)

第4回・第5回 (A～Eの5会場から2回を選択して受講)

- A : 1月20日 (那珂川町立南畑幼稚園)
- B : 1月25日 (須恵町立れいんぼー幼稚園)
- C : 1月31日 (筑紫野市立山家コミュニティセンター)
- D : 2月 7日 (須恵町立れいんぼー保育園)
- E : 2月23日 (新宮町立新宮幼稚園)

- アドバイザーと共に巡回訪問 (実地研修)
- アドバイザーとしての役割 (グループ協議)

アドバイザーが実施する巡回訪問に同行し、アドバイザーとしての役割について考えました。実際に自分が巡回訪問を行う際、どのような視点で参観をすればよいのか、どのように園の思いを受け止め、何をどのように伝えればよいのか、グループでそれぞれに考えを出し合いながら、アドバイザーとしての関わり方等について学びました。



保育参観



アドバイザーの役割について (グループ協議)